

ごみ問題は そのまま次世代に 渡せない！

家庭や職場などで人が活動すると「ごみ」が発生します。市民の皆さんには、ごみの減量や資源化に取り組んでいただいておりますが、なかなか進んでいない現状です。

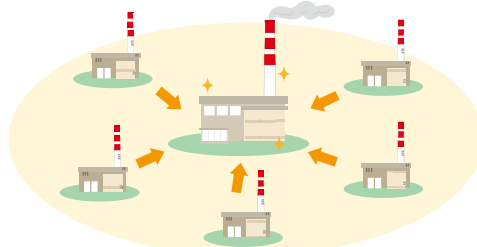
しかし、この現状をそのまま子どもたちの世代に引き渡すと大きな負担となるため、少しでも改善していくことが私たちの務めです。

今号では、市のごみの現状から将来の負担軽減に向けた取り組みを紹介します。

新たなごみ処理施設が必要

現在市内のごみは、5つのごみ処理施設（本渡地区清掃センター、牛深クリーンセンター、西天草クリーンセンター、御所浦クリーンセンター、松島地区清掃センター）で処理しています。これらは稼働後17～26年が経過し、老朽化が進んでおり更新すべき時期を迎えています。

そのため、市ではごみ処理施設を1カ所に集約して新たに建設する計画をしています。しかし、ごみの量が現状のままでは、1日の焼却量が111トンという大きな焼却炉を持つごみ処理施設を造る必要があります。人口の減少が予想されるなか将来のことを考えると、より小さな焼却施設にすることができれば、建設費やその後の維持管理費も縮小できます。

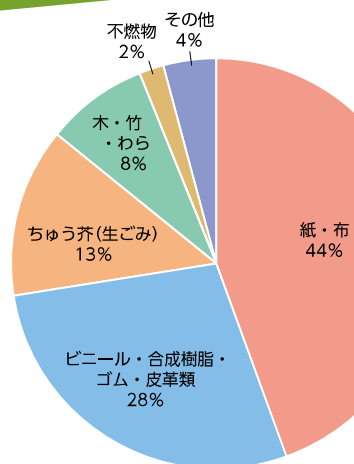


老朽化が進む5つのごみ処理施設を
1カ所に集約して新たに建設

このため、建設を始める前からごみをできる限り減らしておく必要があります。将来に負担を残さないためにも、今日からごみ減量の取り組みを始めましょう。

今からごみを減らして、
小さな焼却施設で足りるように
取り組みましょう。

何を減らしたらいいの？ ～燃やせるごみの中身を分析～



※乾燥させ水分を除いて計量。

市では皆さんが出したごみの中身を定期的に分析しています。

「燃やせるごみ」の内訳は、「紙・布類」が4割を占めており、資源化できるものが含まれています。

次に多いのが「ビニール・合成樹脂・ゴム・皮革類」。生活で使うプラスチック製品が多いためこの結果になったと考えられます。また、汚れたままのペットボトルなども見られます。洗えば資源ですが、汚れていると資源化できず、最終的には燃やすこととなります。

「ちゅう芥」とは生ごみのことです。分析はごみを乾燥させて量っているため、実際はもっと重と考えられます。

これを見ると、ごみを分別して資源物に出したり、生ごみの水分を減らしたりすることが燃やせるごみを減らすことに効果的だと分かります。



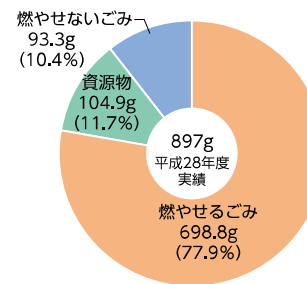
ごみの現状

市民が出しているごみは…

市は、「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」「資源物」に分けてごみの収集をしています。人口減少に伴い、総量は減少していますが、1人が1日に出すごみの量は増加傾向にあるうえ、資源化率も低下しています。

市で処理するごみは家庭だけでなく、事業活動に伴い発生したものの（一般廃棄物）も含まれています。その中で一番多いのが「燃やせるごみ」77・9%。次に資源物11・7%、燃やせないごみ10・4%となっています。

1人1日当たりのごみの量と割合



職場 でも…

家庭で取り組んでいる分別を職場でも実践しましょう

職場でも、家庭と同様に分別することで、資源物としてごみ処理施設に無料で持ち込むことができます。ただし、資源物の収集運搬として一般廃棄物処理の許可業者に委託するか、自ら持ち込む必要があります(地区の資源物収集に出すことはできません)。



◆分別して保管

紙類、ペットボトル、空き缶類、プラマーク容器包装類、ビン類など分別して出せるように分別スペースを設けましょう(紙類は、①新聞チラシ、②段ボール、③飲料用パック、④その他の紙の4種類)。

分別して保管しておく、出す時の手間が省けます。

出すときの ポイント

- 「その他の紙」に出すコピー用紙・雑誌などのホッチキスはそのままOK! 紙以外のカバーやインデックスなどは外す。
- 段ボールのホッチキスは外す。
- 「空き缶類」「ペットボトル」「ビン類」はふたを外し、容器は軽くすすぐ。
- プラマーク容器包装類は、「 プラマーク」がついているものが対象。

◆名刺サイズ以上の紙類は資源

名刺やメモ用紙などの小さな紙くずも、使い古しの封筒に入れると、散らかることなく資源物に出すことができます。ごみ箱を近くに置くと、あまり考えることなくポイと捨ててしまいます。ごみ箱を減らすこともごみを減らす工夫の1つです。



【将来の負担軽減のための決断とお願い】

- 生ごみを分別収集して、し尿処理場でメタン発酵処理する計画がありました。しかし、分別する市民の負担に加え、建設費や維持管理費、収集する費用も増大することから、分別収集を取り止め、処理方式を変更してし尿処理場を建設しました。
- ごみ処理施設の建設を計画していましたが、建設予定地の地盤整備に膨大な費用が掛かるため、計画を白紙に戻しました。
- 新たなごみ処理施設を建設する必要がありますが、まずは、ごみを減らす努力をしたうえで、適正な規模で建設したいと考えています。どうか市民の皆さまのご協力をお願いします。

【問い合わせ先】本庁・環境施設課(旧農政局事務所内) ☎⑩7861

今すぐ始めよう
ごみ減量の
ひと工夫

ごみ減量の取り組みは、家庭だけでなく職場でも一人一人が心がけて取り組むことが大切です。

市政日より天草では、コーナーを設けて、皆さんが取り組めるごみの減量のためのひと工夫を紹介していきます。

家庭 では…

生ごみの水分を減らすと…

- 腐敗や悪臭、害虫の発生を抑制でき、台所を清潔に保てる。
- ごみ袋が軽くなり、ごみ出しが楽になる。

◆生ごみは搾って出す

生ごみは、搾って燃やせるごみに出しましょう。素手で搾るのがためられる人は、ビニール袋に入れて少し口を切って搾る方法もあります。※これは、職場のお茶がらなどでも実践できます。



◆生ごみを濡らさない

生ごみをシンクから出すことがポイント。ボウルとザルを使えばシンクの外に置くことができ、ごみが水に濡れません。そうすることで、搾る手間が省けます。また、お茶パックはギュッと搾った後、広げておくと乾きやすくなります。



生ごみ処理容器などを使って生ごみをゼロに

生ごみ処理容器を使うことで、生ごみをたい肥にすることもできます。生ごみ処理容器にはいろんな種類があります。購入の際には補助金も活用できます。

●コンポスト



土の中のバクテリアや微生物の力を借りて生ごみを分解するコンポスト式の生ごみ処理容器。生ごみを入れたら、生ごみに土をかぶせておくと虫がわきにくくなります。

●バクテリアdeキエーロ



光と風は入れて、雨をさえぎる構造です。穴を掘って生ごみを入れ、少しほぐして土をかぶせます。土が乾燥しやすいので、水分を含んだままの生ごみを入れるのがポイント。

生ごみ処理容器の使い方や補助金などの情報を市のホームページで詳しく紹介しています。ご覧いただき、実践してください。

家庭や職場でのあなたのひと工夫を教えてください。
良いアイデアは、本紙で紹介させていただきます。